

実施日時：平成30年11月21日（水） 13:30 ～ 17:00

実施場所：WEST19 5F 講堂（札幌市中央区大通西19丁目）

訓練参加者：市内保育所職員

参加人数：54名（見学者4名）

訓練内容

(1) 概要

札幌市内保育所で食品由来が疑われる健康被害の発生を想定した模擬机上訓練をグループワーク形式で実施

(2) 訓練形式

ア オリエンテーション

訓練スケジュールの、食中毒の概要及び事件調査の流れ等について説明

イ 机上シミュレーション訓練

事件の探知から初動調査まで（フェーズ1）、被害の拡大防止措置を講じるまで（フェーズ2）について時系列ごとに付与された状況に応じて取るべき対応を参加者自身が検討するディスカッション形式の訓練

訓練検討結果(抜粋)

(1) 【検討事項】複数児童が欠席した際の確認事項

保護者から欠席の連絡があった際に、症状や受信状況の確認、保健所等行政機関への連絡、系列施設に状況確認、施設の消毒、給食提供状況の確認 など

(2) 【検討事項】給食再開にむけて実施すべき事項

【再発防止】

- ・手洗いの徹底、ノロウイルスの検便実施、保育士の嘔吐処理の手順の徹底、施設内の消毒、衛生管理マニュアルの見直し など

【その他】

- ・保護者に説明し信頼回復を図る



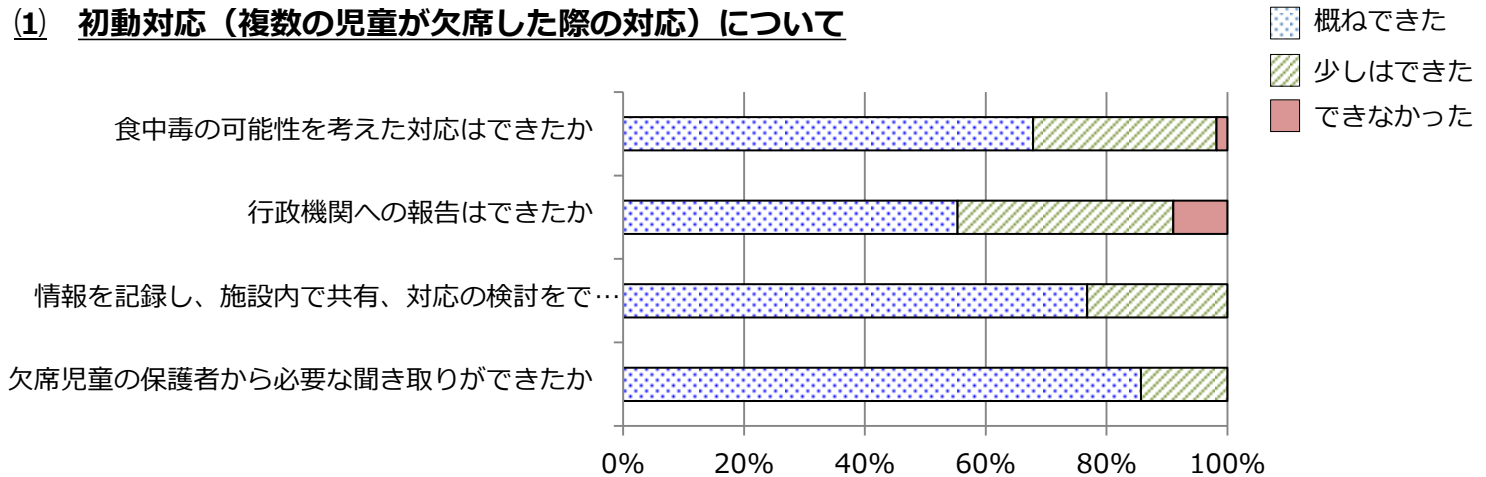
保育所職員の参加者が9班に分かれて訓練を実施しました。



進行役と書記を決め、順に付与される状況に応じた検討課題について、班毎に議論して答えを出して発表していただきました。

自己評価結果(抜粋)

(1) 初動対応（複数の児童が欠席した際の対応）について

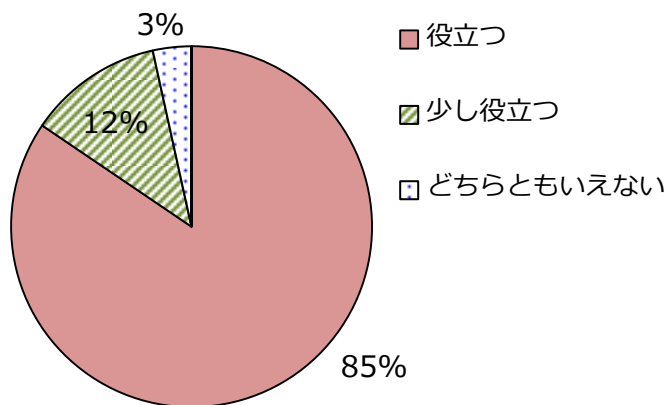


(2) 初動対応について課題と感じた点

- ・職員の中で体調不良の者が当初いなければ、6日（翌日）の給食提供は止めずに行うと思う。
- ・多少の子どもの体調が悪くても（微熱）仕事の為に登園してしまうので、保護者の方の理解を得ることが難しいと思う。
- ・同じ症状が多く出るまでは報告を考えてしまうところがあるので、早目に連絡して対応を相談するようにしたい。
- ・職員全員が重要性を感じて対応できるか。
- ・軽く考え処理し、連絡報告が遅れる事で、感染拡大につながるということを意識し、作業を行なうことができるか。
- ・症状、時間など、よく聞いておいて記録し、時系列で把握しておくことの必要性を感じた。少し先の状況を予測して動いていかないと、感染が拡大してしまうので、職員間の情報の共有などの大切さを改めて感じた。

参加者アンケート（抜粋）

今後の業務に役立つか？（n=58）



（主な理由）

- ・意識が変わった。園に持ち帰って危機管理意識の共有・向上をしていきたい。
- ・色々な職種のお話をきくことができたことはよかった。
- ・シミュレーションをするため、いろいろな想定を考えることができた。
- ・他園の情報も聞けて良かった。